

IV 健康増進担当の事業概要

1 結核対策事業

令和6年の管内の結核の状況は、罹患率が人口10万対11.8、新登録患者が4名となっています。当保健所では、患者管理・服薬支援の徹底、接触者健診の徹底、適正医療の普及等、結核対策のより一層の推進に努めています。

(1) 令和6年度定期健康診断・定期予防接種対象別状況

区分	対象者数 (人)	実施者数 (人)	受診率 (%)	健康診断						予防接種		IGRA		被発見者		
				間接		直接		ツ反		BCG				患者	恐れのある者	
				保健所	その他	保健所	その他	保健所	その他	保健所	その他	保健所	その他			
健康診断	一般住民	15,768	1,887	12.0				1,887								
	学校	226	226	100.0				226								
	施設	799	789	98.7		19		770								
	事業所	2,957	2,887	97.6		189		2,698								
	計	19,750	5,789	29.3		208		5,581								
	定期	接触者	17	17	100.0				1				14	2		2
	定期外	管理検診	15	15	100.0			2	13							
	計	32	32	100.0			2	14				14	2		2	
予防接種	定期	乳幼児	131	131	100.0							131				
	計	131	131	100.0								131				

(2) 結核登録者の状況（令和6年12月31日現在）

結核サーベイランス現在時マスターより転記

登録者 総数	活動性結核					不活動 性結核	活動性 不明	潜在性結核 感染症	
	肺結核活動性				肺外 結核 活動性			治療中	観察中
	総数	登録時 喀痰塗抹 陽性	登録時 その他 結核菌 陽性	登録時 菌陰性 その他					
11	4	3	1			7		2	

(3) 結核新登録者の状況（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

新登録 患者 総数	活動性結核					(別掲) 潜在性結 核感染症	罹患率 (人口10万 人対)
	肺結核活動性				肺外 結核 活動性		
	総数	登録時喀痰 塗抹陽性	登録時その他 結核菌陽性	登録時菌陰 性その他			
4	4	3	1			2	11.8

結核サーベイランス現在時マスターより転記

(4) 年齢階級別結核新登録患者割合（令和6年）

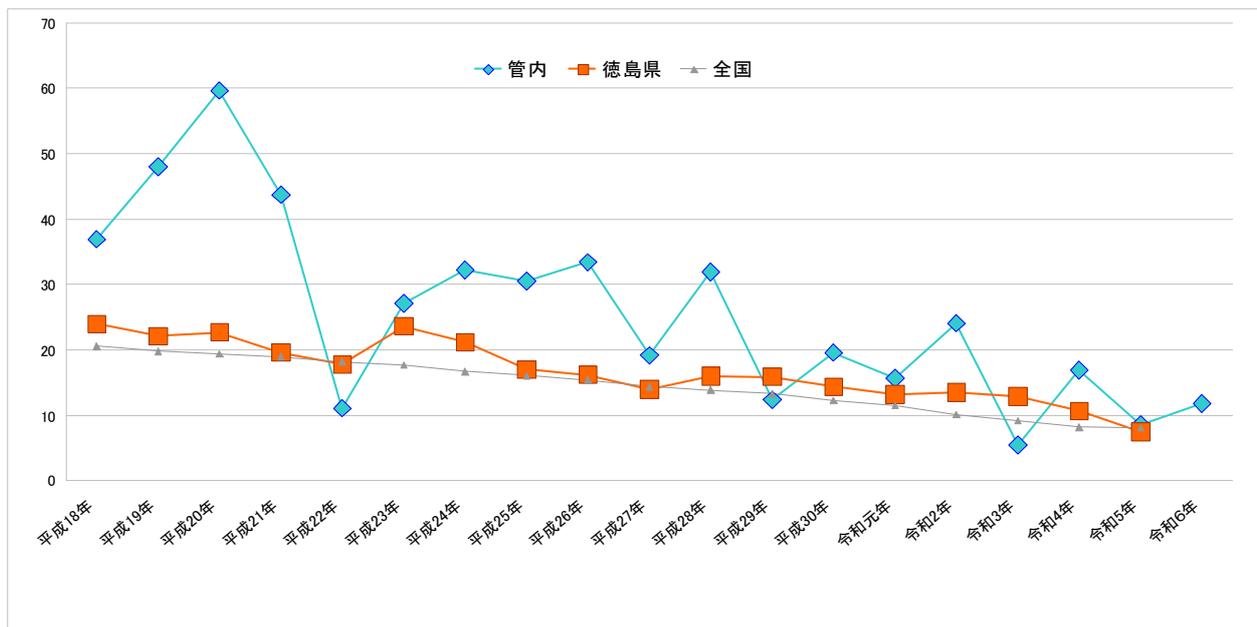
年齢	人数(人)
70歳未満	1
70～79歳	1
80歳以上	2
合計	4

(5) 結核に関する指標の県及び全国との比較

(人口10万対)

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
登録率	管内	34.9	30.2	36.5	28.8	32.5
	徳島県	27.1	26.3	22.0	19.4	
	全国	25	22.1	19.7	18.0	
有病率	管内	13.4	5.5	19.7	5.8	11.8
	徳島県	10.8	10.1	8.7	7.6	
	全国	6.8	6.2	5.4	5.5	
罹患率	管内	24.1	5.5	16.9	8.6	11.8
	徳島県	13.5	12.9	10.7	7.5	
	全国	10.1	9.2	8.2	8.1	
喀痰塗抹 陽性 罹患率	管内	0.0	5.5	5.6	2.9	8.9
	徳島県	4.9	4.8	2.8	1.7	
	全国	3.7	3.3	3.0	2.8	
結核 死亡率	管内	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	徳島県	2.7	4.8	2.1	1.3	
	全国	1.5	1.5	1.4	1.3	

(6) 結核罹患率の推移（人口10万対）



(7) 令和6年度感染症診査協議会診査、公費負担の状況

①結核に関する診査

公費負担別	申請件数	不合格件数	承認件数	他の医療制度等により不合格となった件数
法第37条 (入院勧告)	9		9	
法第37条の2 (適正医療)	6		6	

(8) 保健所と感染症指定医療機関の保健医療連携

入院中、退院時、退院後の継続した服薬支援体制を構築するとともに、結核患者の治療成績の向上を目指し、病院と地域保健の連携を図っています。

	内 容
結核症例検討会	徳島県保健所と独立行政法人 国立病院機構とくしま医療センター東病院との結核症例検討会（開催6回） 開催日 令和6年4月16日、6月18日、8月20日、 10月15日、12月17日、令和7年2月18日 場 所 国立病院機構とくしま医療センター東病院 出席者 呼吸器内科医師、病棟師長、病棟看護師、薬剤師、 医療ソーシャルワーカー、保健所担当保健師等
	西部圏域保健所と徳島県立三好病院との結核症例検討会（開催2回） 開催日 令和6年6月11日、12月12日 場 所 徳島県立三好病院 出席者 呼吸器内科医師、病棟看護師長、病棟看護師、感染管理担当 看護師長、外来看護師長、医療ソーシャルワーカー、 保健所長、保健所担当保健師等
結核コホート検討会	症例検討会と同時に年2回の結核コホート検討会を実施 開催日 令和6年6月11日、12月12日 場 所 徳島県立三好病院

(9) 結核菌DNA解析調査事業

徳島県では、結核患者から分離された結核菌について感染源、感染経路の究明を行い、結核の二次感染予防等結核対策に役立てることを目的として結核菌DNA解析調査事業を行っています。

【行政検査依頼件数】

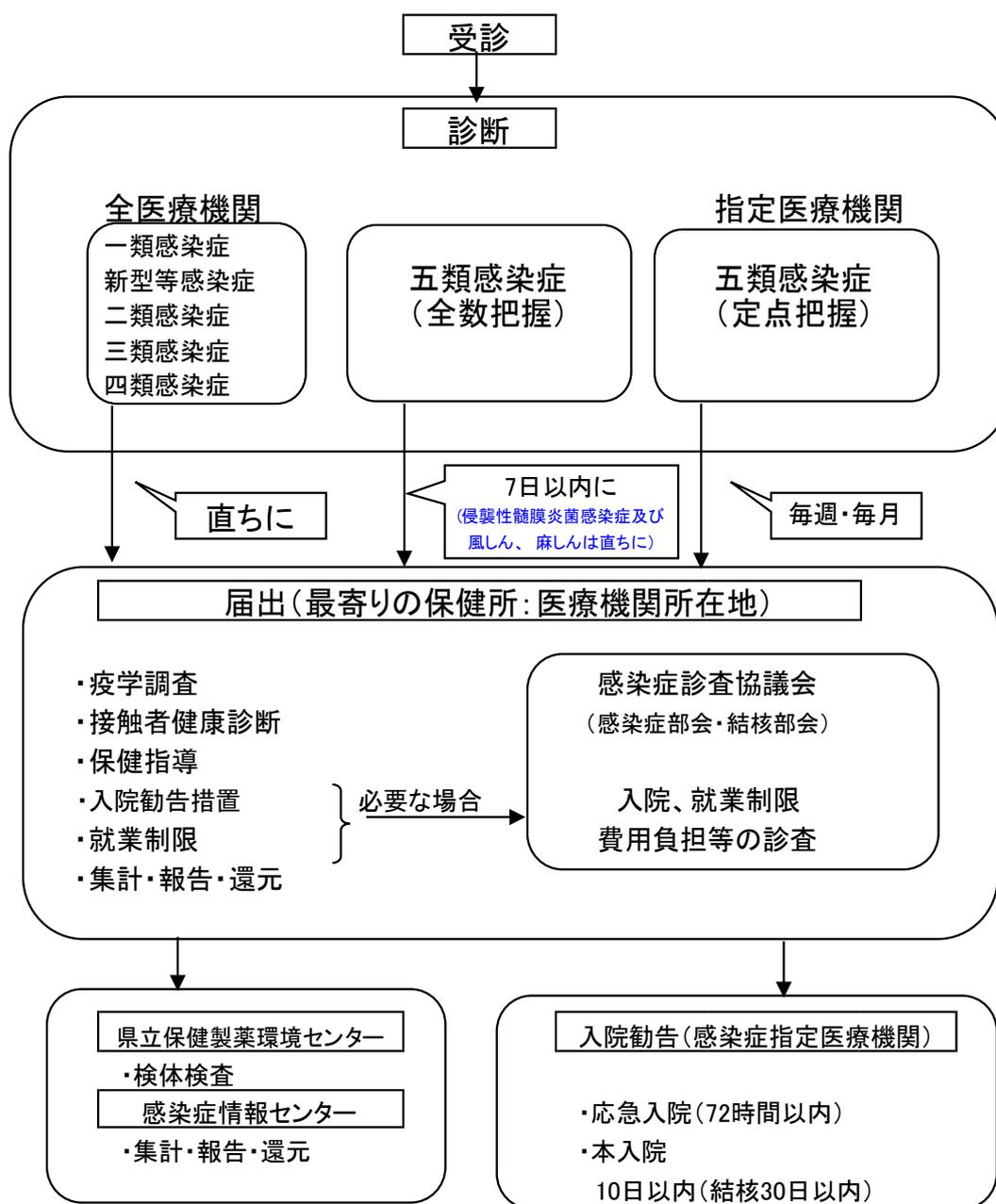
医療機関名	行政検査依頼件数
とくしま医療センター東病院	
徳島県立中央病院	
徳島県立三好病院	1
徳島県立海部病院	

2 感染症対策事業

平成11年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）に基づき、感染症の発生予防及び発生時の適正対応・まん延防止を図るための対策を行っています。

保健所では、各感染症対策としての各種対応マニュアル、所内体制の整備、対策用物品の備蓄等を行い、また、各関係機関との連携をはかり、感染症予防と感染拡大防止、及び感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努めています。

感染症法における医療機関対応フロー図



(1) 感染症発生動向調査

感染症法12条及び法14条に基づき、一類～五類感染症の患者を診断した医師から届け出を受けて、地域的な感染症の発生状況、病原体の検索結果等、流行の実態を迅速かつ的確に把握し、その情報を速やかに地域に還元・公表することで、感染症の発生およびまん延の防止を目的としています。

情報の集約と還元は、中央感染症情報センター、全国の地方感染症情報センター、地方衛生研究所、保健所等を情報ネットワーク（オンライン）で接続した感染症サーベイランス（NESID）を介して行われています。

感染症類型	届けるべき医師	時 間
一類～四類 新型インフルエンザ等感染症	すべての医師	直ちに
五類（全数把握）		7日以内 （侵襲性髄膜炎菌感染症及び風しん、 麻しんは直ちに届出）
五類（定点把握）	指定届出医療機関の医師	翌週月曜日又は翌月初日

三好保健所管内定点医療機関

インフルエンザ／COVID-19定点：3医療機関

小児科定点：2医療機関

基幹病院定点：1医療機関

(2) 感染症発生状況と対応について

① 感染症患者等発生状況

感染症類型	疾 病
四類感染症	日本紅斑熱 1件
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 急性脳炎 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 1件 梅毒 4件 百日咳 2件

② 学校等における感染症等発生時への対応について

学校等からのインフルエンザや新型コロナウイルス感染症等による臨時休業の連絡を受け、関係機関と連携し、まん延防止のための保健指導を実施しました。

原因感染症等	対応件数
インフルエンザ	12
新型コロナウイルス感染症	3

③ 社会福祉施設等における感染症等発生時への対応について

社会福祉施設等より集団感染の報告を受け、疫学調査等を実施し、まん延防止のための保健指導を実施しました。

原因感染症等	対応件数
インフルエンザ	6
新型コロナウイルス感染症	21
ノロウイルス等による感染性胃腸炎	2
その他感染症	1

④ 新型コロナウイルス感染症への対応について

5類感染症への移行後も住民や事業所等からの相談に応じてきました。

相談件数	130件
------	------

(3) 感染症関係研修会の開催

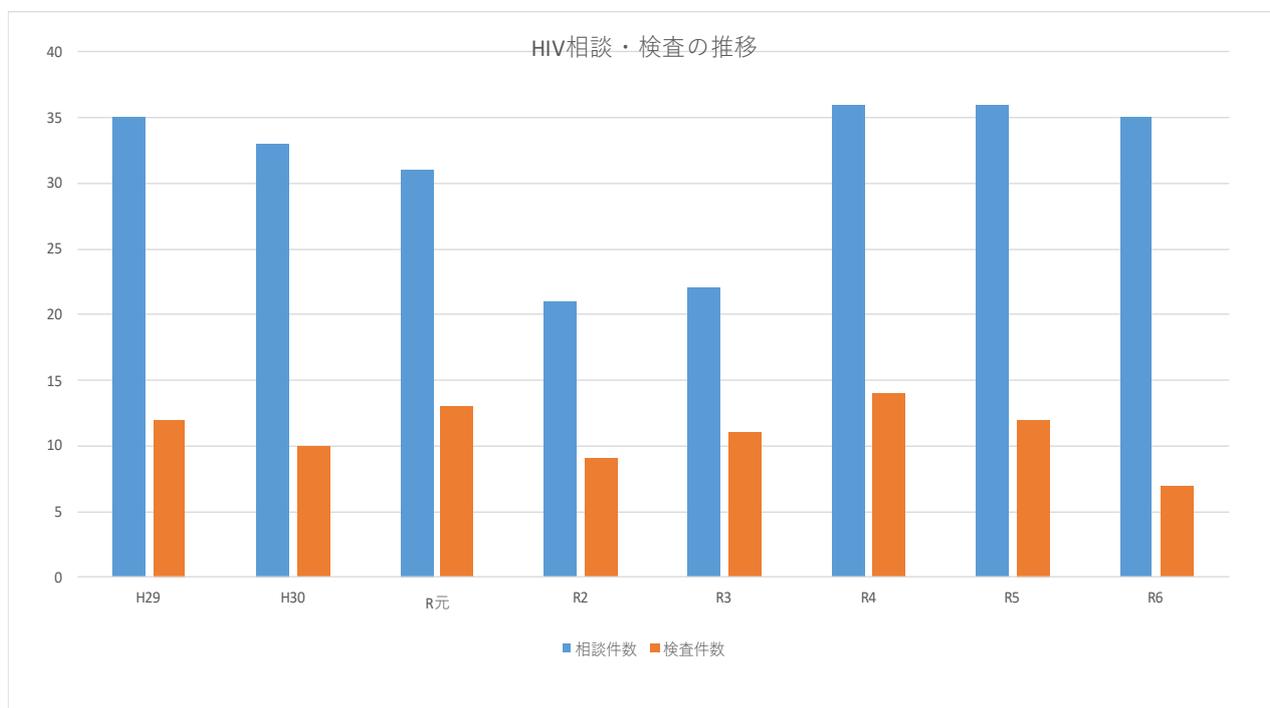
開催日	参加者数	内容
R6. 6. 24	19	感染症予防研修会
R6. 6. 25	20	場所 三好保健所 内容 講演「感染対策について」 ・感染症対策の基本、標準予防策、経路別予防策について ・个人防护具の選択、着脱方法について 講師 徳島県立三好病院感染管理担当看護師 猪尾 美紗妃 氏 対象 三好保健所管内の医療機関、高齢者・障がい者施設、 児童福祉施設等の関係職員
R6. 12. 17	9	鳥インフルエンザ発生時の対応職員研修
R6. 12. 18	7	場所 三好保健所、西部総合県民局三好庁舎
R6. 12. 26	8	内容 鳥インフルエンザ発生時の保健所の役割、マニュアル改正後の 変更点、動員者健康調査の流れの確認 対象 三好保健所職員、保健福祉環境部（三好）職員
R6. 6. 7	35	ライフサポート講座（6回実施）
R6. 7. 31	38	内容 感染症予防・感染対策について
R6. 8. 20	15	対象 シルバー大学校、介護予防リーダー養成講座
R6. 12. 3	30	社会福祉施設 等
R6. 12. 10	12	
R7. 2. 26	15	
R6. 9. 24	15	感染対策施設訪問（4施設）
R6. 9. 30	20	内容 感染対策の基本、个人防护具の着脱演習、吐物処理の訓練 等
R6. 10. 8	20	対象 障がい者・高齢者施設等の職員
R6. 10. 28	3	

3 エイズ対策促進事業

HIV感染のまん延を防止するとともに、感染者や患者に対する偏見差別をなくすことを目的としています。特に、青少年に正しい知識を浸透するために、関係機関と連携を図り、啓発普及を推進しています。

(1) エイズ相談・抗体検査の状況

区分/年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
相談件数	35	33	31	21	22	36	36	36
検査件数	12	10	13	9	11	14	12	7

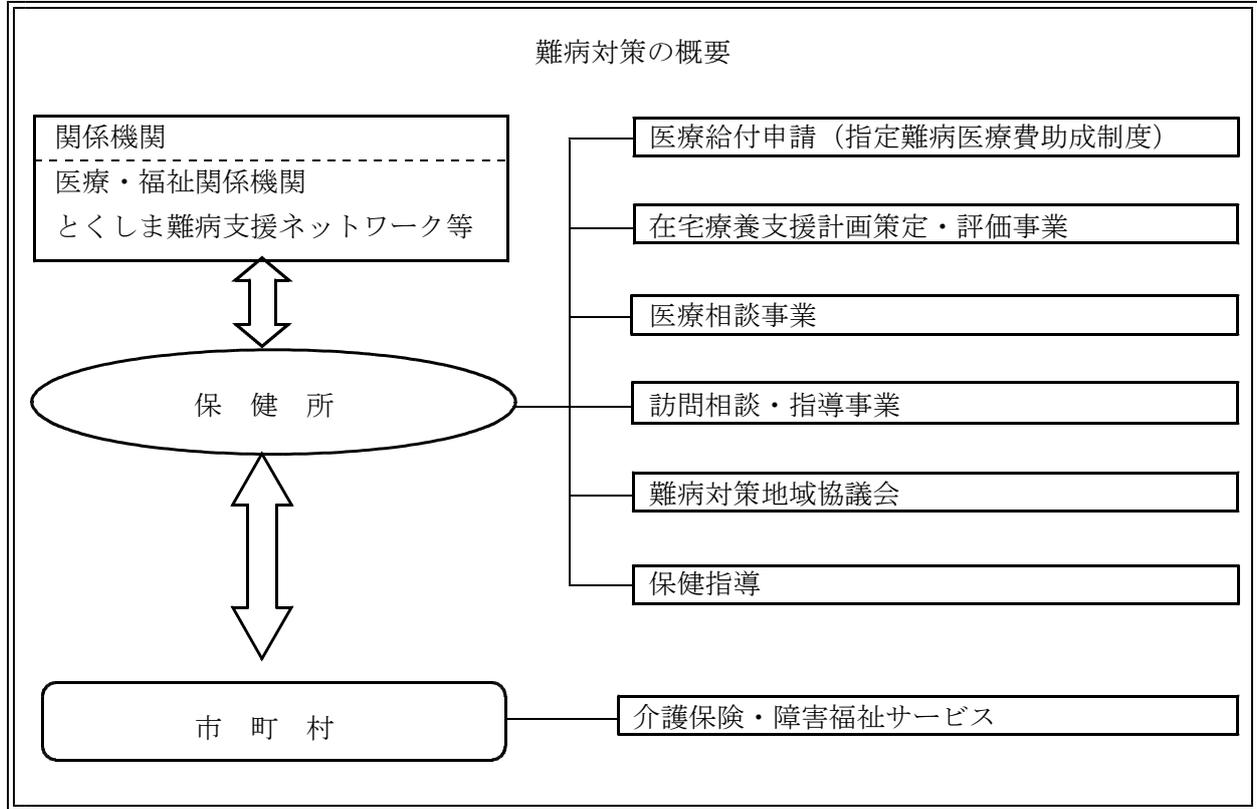


(2) 啓発普及事業

対象	開催 年月日	実施場所	方法	内容	参加 人数
一般	R6. 6. 1 ～ 6. 7	保健所	HIV検査 普及週間	HIV検査・相談 ティッシュ・ポスターの配布	1 360部
	R6. 11. 11 ～12. 15	保健所管内	世界エイ ズデー	HIV検査・相談 ティッシュ・ポスターの配布	8 360部
広報	R6. 12	管内2市町	普及啓発	広報への掲載	
	R6. 6 R6. 12	保健所	普及啓発	啓発用キルトの掲示 啓発パネルの展示 ホームページへの掲示	

4 難病対策事業

難病患者・家族に対して、療養上の不安解消、生活の向上を図るため関係機関と連携し各事業を実施しています。



- (1) 特定医療費（指定難病）給付事業
医療費公費負担の受付を行っています。

令和6年度受付状況

審査結果	申請内容			
	新規		更新	
	一般	軽症高額	一般	軽症高額
承認	65	1	358	59
不承認	3		17	
保留	1			
不明（申請中）				
計	69	1	375	59

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

① 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、保健所が主治医等の医療及び福祉関係者の協力を得て、保健・医療・福祉にわたる各種サービスの効果的な提供を行うための計画策定等を行っています。

疾患群	疾患名	対象者数	実施回数
神経・筋疾患	筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症	3	6

② 医療相談事業

難病患者及び家族を対象に、専門医、保健師、栄養士、介護福祉士、ケースワーカー等による医療や介護、福祉サービス相談や講演会を実施しています。また、患者交流会も実施しています。

年月日	内 容	参加者数
R7. 1. 22	難病患者等関係職員研修会	24

③ 訪問相談・指導事業

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する相談や在宅療養に必要な医学的指導を行うため、専門の医師、対象患者の主治医、保健師、看護師、理学療法士等による、訪問相談・指導事業を実施しています。

訪問相談

対象者(病名・人数)	訪問相談員	派遣回数
		0

④ 難病対策地域協議会

難病法32条の規定する難病対策地域協議会を設置し、地域における難病の患者への支援体制に関する課題について情報共有し、地域の実状に応じた体制の整備について協議を行うものです。

開催日	参加者数	内 容
R6. 12. 9	23	徳島県西部圏域難病対策地域協議会 場所 つるぎ町農業構造改善センター2階 視聴覚室 議題 1 難病患者の現状及び課題について 2 小児慢性特定疾病患者の現状及び課題について 3 とくしま難病支援ネットワークからの課題について 4 その他

(3) 難病普及啓発事業

難病に関する理解促進を図るため、6月を「徳島県難病普及・啓発月間」と定め、各種普及啓発事業に取り組んでいます。

取 組 内 容		
実施日	場所	内容等
R6. 6. 1～6. 30	保健所ロビー、 三好庁舎	難病に関するチラシ・パンフレットの掲示

(4) 保健指導

保健師等による面接相談、訪問、電話相談等を随時受け付けています。

実 人 員	相 談									訪 問 指 導		電 話 相 談 延 人 員
	延 人 員									実 人 員	延 人 員	
申 請 等	医 療	家 庭 看 護	福 祉 制 度	就 労 就 学	食 事 栄 養	歯 科	そ の 他	計				
468	751	1					12	764	5	17	404	

(5) 指定難病関係情報の管理及び提供

難病患者データベースの管理や県内患者交流会の開催通知、全国患者会の情報収集、参考資料等を収集し、患者・家族、関係機関に情報提供を行っています。

(6) 難病医療ネットワーク事業

難病患者及び家族が社会的に有意義な生活を送ることができるよう、適宜に適切な医療を確保し、療養支援体制を確保しています。

相談件数	49
------	----

(7) 患者・家族の自主グループを支援するもの

患者・家族の自主グループ等の支援を行っています。

支援回数	2
------	---

5 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、定期健康診断を年間2回実施しています。

被爆者健康手帳 所持者数（人）	定期健康診断受診者数（人）	
	第1回	第2回
10	3	2

6 肝炎対策事業

(1) 肝炎ウイルス検査相談事業

B型及びC型肝炎ウイルスに感染している者を早期に発見し、早期治療につなげるため無料のウイルス検査を実施しています。

	実施回数	検査人員	備 考
B型肝炎ウイルス検査	23	3	毎月第1・第3木曜日に実施
C型肝炎ウイルス検査	23	3	

(2) 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的とする医療を必要とする患者に対し、対象医療の自己負担額（月額）を超える費用を公費で助成しています。

	新規	延長	2回目	更新	計
承認	4			37	41
不承認					
合計	4			37	41

7 骨髄提供希望登録推進事業

日本骨髄バンク事業の普及啓発を行い、保健所において登録受付を実施することで、骨髄提供を希望する県民の利便性を図り、骨髄バンクへの登録を推進します。

(1) 保健所での登録相談状況

実施日数	来所件数	備 考
22	0	毎月第1・第3木曜日に実施

(2) 集団登録会及び献血併行型登録会実施状況

開催年月日	開催場所	説明件数	登録者人数	開催形態
R6.10.28	東みよし町役場	1	1	献血併行型登録会

(3) 啓発実施状況

チャンスや啓発用グッズの配付、ポスターの掲示等の普及啓発を行っています。

8 母子保健事業

生涯を通じた健康づくりの出発点である母子保健対策として、思春期から婚前・妊娠・出産・乳幼児期・更年期の母子に対して、保健・医療・福祉・教育機関等と連携を図りながら広域的・専門的な母子保健サービスの提供を実施しています。

また、地域における療育相談体制の確立を目指すとともに、児童の健全育成のための事業を実施しています。

(1) 低出生体重児等母子訪問

主に県外に住民票のある児に対して、医療機関や市町と連携し、養育を支援する目的で、訪問やケース検討会などの支援を行っています。

(2) 性と健康の相談センター事業

妊娠・出産には適切な時期があり、健康であることも大切です。プレコンセプションケアを含め、男女問わず性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を展開することにより、思春期、妊娠、出産等の各ライフステージに応じた健康を支える支援を行っています。

① 思春期講演会

実施年月日	参加人数	内 容
R6. 11. 14	5	講 義：「自分を大切にすること 相手を大切にすること」 講 師：徳島県立三好病院 産婦人科 大和 幸子 氏 対象者：東祖谷中学校学生、教職員
R6. 11. 22	69	講 義：「自分を大切にすること 相手を大切にすること」 講 師：徳島県立三好病院 産婦人科 大和 幸子 氏 対象者：三加茂中学校学生、教職員

② 保健講座

	回数・人数等	内 容
出前保健講座	15回 延606名	講義：心の健康、生活習慣等 講師：保健所保健師

③ 普及啓発（若者世代のライフプラン推進事業／安心・安全な妊娠・出産）

	回数・人数等	内 容
高校保健展	2回 延430名	管内高等学校2校で高校文化祭時に保健展を実施 内容：性感染症、母子、歯科、栄養、たばこ、ストレスチェック、アルコールパッチテスト、デートDV、看護のコーナー等

- ④ 情報提供
 女性の健康週間における啓発活動
 期間：令和7年3月1日～3月8日まで
 場所：西部総合県民局三好庁舎県民サービスセンター、三好保健所庁舎
 内容：ポスター、パンフレット展示（女性の健康週間、女性特有のがんについて等）
- ⑤ 相談事業
 思春期から更年期に至る男女を対象とした電話相談、来所相談を随時実施

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

- ① 療育相談指導
 疾病等により長期にわたり療養を必要とする児童について、適切な療養を確保するため、状況に応じた適切な相談・指導を行っています。

内 容	開催回数	相談延数
療育相談（整形）	5	15

- ② 障がい児保護者自主グループ支援
 実施なし

③ 研修会

実施年月日	参加人数	内 容
R6. 11. 20	5名	小児肥満予防に関する意見交換会

(4) 子育て出前講座

次代の親となる子どもたちの世代に、子育てに関する知識について学習機会を提供するとともに、ふれあい子育て体験を通して、子育てに対して関心を高めることを目的に実施しています。（高校文化祭と同時実施）

(5) 母子医療援護対策

① 医療費給付・助成事業等

母子保健等に係る医療の助成等として、保健所が申請窓口となっています。

ア 小児慢性特定疾病医療給付状況 (R7年3月31日現在 実人員)

	悪性 新生物	慢性 腎疾患	慢性 呼吸器 疾患	慢性 心疾患	内分泌 疾患	膠原病	糖尿 病	先天性 代謝 異常	血液 免疫 疾患	神経・ 筋疾患	慢性 消化器 症候群	染色体又 は遺伝子 に変化を伴 う症候群	計
未就学児		1					1			1			3
小学校就学～ 18歳未満		1		1				1			2		5
18歳～ 20歳未満					1								1
計	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	2	0	9

イ 妊孕性検査支援事業

件数(延べ)	5
--------	---

ウ 妊娠高血圧症候群等医療給付状況

件数	0
----	---

(6) 広域調整・支援

保健所管内の市町教育委員会、学校等と連携を図り、子どもの生活習慣と心の健康について健康課題を提言しています。また、事業企画提案や健康教育を通じて、次世代を担う子どものよりよい生活習慣の形成を育み、心身の健康増進を推進しています。

(7) ネウボラ推進応援事業

改正児童福祉法により、市町村において全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関「こども家庭センター」の設置に努めることされました。妊産婦を取り巻く状況は目まぐるしく変化し、産前産後のケアやメンタルヘルス支援が求められています。管内でも全ての妊産婦が安心して子育てができるよう、市町村の支援を行っています。

①研修会

開催年月日	内 容
R6. 12. 13	演題：「妊産婦のメンタルヘルス 対応の基本 ～どのように考え、声をかけるか～」 講師：(1)埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック 准教授 安田 貴昭 氏 参加人数：美馬・三好保健所管内の産婦人科、精神科、市町、保健所担当者 44名 場所：つるぎ町立半田病院 大会議室

②管内母子保健担当者会

開催年月日	構成員	内 容
①R6. 8. 9	三好保健所管内市町母子保健担当	母子保健事業について
②R6. 8. 28	西部圏域市町母子保健担当、産婦人科医療機関、美馬・三好保健所職員	西部圏域における母子保健の取組について 妊産婦のメンタルケア対策について 等
③R6. 9. 2	三好保健所管内医療機関、市町母子保健担当	母子保健事業について 助言者：徳島県立三好病院 産婦人科 大和 幸子 氏
④R6. 12. 13	西部圏域市町母子保健担当、産婦人科・精神科医療機関、美馬・三好保健所職員	妊産婦のメンタルヘルス支援について 助言者：埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック 准教授 安田 貴昭 氏

(8) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた方等への補償金等支給

旧優生保護法に基づく優生手術等や人工妊娠中絶等を受けた方やご家族に対し、補償金等が支給されます。子育て応援課及び各保健所において、申請受付・相談等を行っています。

旧優生保護法一時金支給申請状況

申請件数	0
------	---

旧優生保護法補償金支給申請状況

申請件数	1
------	---

9 歯科保健事業

生涯を通じた歯科保健活動として、80歳になっても20本以上自分の歯を保つという目標を掲げた「8020運動」を推進しています。この目標を達成するためには、各ライフステージに応じた継続した対策が重要であり、各関係機関との連携・協力体制の強化に努めるとともに研修会等を通じて関係職員の資質の向上を図っています。

(1) 歯科保健指導状況

乳幼児等、各ライフステージの対象者にライフサポート事業等により健康教育や個別相談を行い、歯と口の健康からの生活習慣病予防及び歯みがき習慣の定着に努めています。

対 象	事 業 名	回 数	延人員
乳幼児・親	市町の1歳6ヶ月児健診		
	市町の2歳児健診		
	離乳食実習における歯科指導		
	ライフサポート事業		
幼・小・中学生	ライフサポート事業		
高校生	学校保健展	1	25
一般	ライフサポート事業	1	12
	個別指導		

(2) 親と子のよい歯のコンクール

管内市町で実施の3歳児健康診査の結果、歯及び口腔が正常な「親と子」を対象に地方審査を開催し、優良者を中央審査会に選出しています。

実 施 状 況	回 数	延人員
親と子のよい歯のコンクール地方審査	実施なし	

(3) 8020運動推進特別事業

住民の歯と口腔の健康の保持を推進させる観点から、地域の実情に応じて、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた、歯と口腔の健康づくりや歯科健診の推進を図ることを目的としています。

事業名	事 業 内 容
歯科関係者等の推進に携わる人材育成事業	歯科保健関係職員研修会 講 義：「災害時の歯科口腔のケア」 日 時：令和6年8月28日 講 師：徳島県歯科衛生士会 伊井 由美子 氏 回数及び参加人数：1回 15名

(4) 口腔保健推進事業

地域住民の口腔の健康の保持を推進させる観点から、歯科疾患の予防及び口腔機能の維持向上に関する取組の推進を図ることをめざします。

歯科保健医療サービスを受けることが困難な者の口腔の健康の保持を推進させる観点から、施設を利用する障がい者（児）、要介護高齢者等に対して支援を行い、歯科疾患の予防等による口腔健康の保持・推進を図ることをめざします。

事業名	事業内容
歯科疾患予防 支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校現場と連携した歯科保健活動 <ol style="list-style-type: none"> (1)管内高校を対象とした歯科保健教育 内容：新入生を対象に予防を含めた歯周疾患について健康教育を実施 回数：1回 (2)個別指導 内容：学校歯科健診後にう蝕や歯肉炎があった生徒に対して歯科保健指導を実施 回数：1回 (3)管内高等学校1校で保健展を実施 内容：生徒や一般の方を対象に歯科保健に関する普及啓発を実施 2 出前講座、保健指導 <ol style="list-style-type: none"> (1)地域の集会での歯科保健指導 内容：オーラルフレイル、歯周病と全身疾患、口腔ケア、義歯の取り扱い、口腔体操 等 回数：1回 3 その他、啓発活動 歯と口の健康週間、いい歯の日の啓発
歯科保健医療 サービス提供 困難者への歯科 保健医療推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科保健連絡調整会議 構成員：三好歯科医師会代表、市町、障がい児施設職員、保健所担当者 内 容：①三好保健所の歯科保健事業について ②これまでの障がい者（児）歯科保健事業について ③その他

10 栄養改善指導事業

地域住民の栄養改善のため、広域的、専門的かつ技術的指導の拠点として、地域の課題に即した先駆的・模範的な事業や調査・研究を推進し、健康づくりのための食環境整備を図っています。

(1) 特定給食施設等栄養管理指導事業（健康増進法 第18条、第20～24条関係）

管内の特定給食施設等設置者並びに給食関係者に対し、栄養管理の見地から適切な指導を行い、喫食者の栄養改善と健康増進に資すると共に、給食施設による栄養管理等を通じて喫食者の家族や地域の栄養改善と健康の保持増進を図っています。

① 届出の状況

種 別	特 定 給 食 施 設		その他の給食施設	計
	1回300食以上又は 1日750食以上 (※知事指定施設を含む)	1回100食以上又は 1日250食以上	1回50食以上又は 1日100食以上	
開 始 件 数		1	1	2
廃 止 件 数			2	2
変 更 届 件 数		1	2	3

② 個別指導

	栄養士配置	特 定 給 食 施 設			その他の給食施設	小規模給食施設	計	合計
		知事指定施設(※)	1回300食以上又は1日750食以上(※を除く)	1回100食以上又は1日250食以上	1回50食以上又は1日100食以上			
対象数	有	1	2	11	20	6	40	57
	無			3	5	9	17	
指導件数	有	6	20	74	105	18	223	272
	無			13	11	25	49	

※知事指定施設：健康増進法第21条第1項により管理栄養士を置かなければならない施設

③ 集団指導

開 催 回 数	延 人 数	延 施 設 数
27	218	184

④ 状況調査・報告

特定給食施設等栄養管理状況報告書	延件数
	56

⑤ 三好集団給食施設協議会の活動支援状況

事業内容					
1 目的：特定給食施設の管理運営を円滑にし、関係機関相互のネットワークづくりを図るとともに給食に関する技術・運営について研究する。さらに、給食の栄養的・衛生的な向上及び地域貢献を図る。					
2 会員数：49施設（令和7年3月31日現在）					
3 組織強化・連携会議					
内容	総会	役員会	会報作成委員会	みよし食育実行委員会	研修委員会
回数	1回	2回	2回	7回	1回
人数	27名	17名	9名	28名	5名
4 優良従事者会長表彰：1名 優良施設表彰：1施設					
5 主催研修会の開催					
開催日	出席者数	内容			
R6. 6. 14	30	総会時全体研修会 講演：「給食施設の衛生管理 ～食中毒の予防について～」 講師：三好保健所 生活衛生担当			
R7. 1. 29	10	管理者研修会 講演・実演：「自施設に必要な備蓄食を考える」 グループワーク 講師：株式会社みやこ 防災士 日本災害食学会災害食専門員 山田 治代 氏			
R6. 8. 22	11	栄養士研修会 講演：「糖尿病について～徳島県の現状をふまえて～」 講師：安芸内科 安藝 菜奈子 氏			
R6. 9. 13	10	第1回調理師研修会 講演：「スチームコンベクションオーブンを使って」 講師：株式会社フジマック 調理アドバイザー（管理栄養士）福原 朋香 氏			
R. 12. 4	8	第2回調理師研修会 講演：「日本摂食嚥下リハビリテーション学会 嚥下調整食2021にて」 調理実習：「最新調理法 加水ゼロ式調理法について」 講師：株式会社フードケア 松澤 淳 氏 株式会社フードケア 介護食シェフ 鹿子生 耕介 氏			

R6. 10. 1	12	<p>先進事例研修会 テーマ：「調理業務における人員不足対策への 取組について考えよう」</p> <p>事例報告①「当施設での取組について」 三好市養護老人ホーム敬寿荘 栄養士 本田 和代 氏</p> <p>事例報告②「当社における人員不足解消に繋がる 給食運営等のご紹介」 (株) ナリコエンタープライズ 中四国支店 四国営業一課主任 神谷 直哉 氏</p> <p>事例報告③「当社が取り組んだ人員不足への成功事例」 富士産業株式会社四国事業部 栄養管理課次長 高原 弓子 氏</p>
-----------	----	---

- 6 地域貢献「みよし食育教室」の開催
- ・東みよし防災フェスティバル2025での普及啓発
 日 時：令和7年3月9日
 テーマ：「災害時の食事について考えよう」
 ブース来場者：約140名
 - ・ヘルスマイト対象の食育支援
 日 時：令和7年2月18日
 調理実習：「みよしの食文化を再現！」
 参加者：11名
 - ・管内の高校3年生を対象にした食育教室
 日 時：令和6年12月11日、12月16日
 対象者：徳島県立池田高等学校 三好校34名・辻校25名
- 7 広報活動
 会報「バランス」第25号の発刊 5,500部
- 8 徳島県集団給食施設協議会事業への参画
- (1) 総 会：令和6年9月 3日 参加者18名（オンライン併用）
 - (2) 優良従事者表彰：2名、優良施設表彰：1施設
 - (3) 研修会：令和6年9月 3日 参加者18名（オンライン併用）
 令和7年2月12日 参加者14名（オンライン併用）

(2) 在宅食事療養者支援事業

地域保健・地域医療・職域保健等との連携による支援体制を構築し、在宅での食事療養を充実させ、疾病予防と再発、悪化を防ぐことを目的に実施しています。

内	容
1	<p>研修会の開催</p> <p>日 時：令和6年8月22日（ハイブリッド開催）</p> <p>演 題：「糖尿病について ～徳島県の現状をふまえて～」</p> <p>講 師：安芸内科 安藝 菜奈子 氏</p> <p>参加者：給食施設職員、医療機関職員、学校職員及び地域保健関係者（保健師・管理栄養士）等 16名</p> <p>※糖尿病地域医療連携体制整備事業、にし阿波・糖尿病サポータースキルアップ研修会、三好集団給食施設協議会栄養士研修会と併せて実施</p>
2	<p>糖尿病・CKD（慢性腎臓病）対策担当者会の開催 （糖尿病地域医療連携体制整備事業と併せて実施）</p> <p>西部圏域の健康課題である糖尿病やCKD（慢性腎臓病）対策をより効果的に推進するため、地域の医療機関や行政が連携を図り、継続的に生活習慣の改善や治療に取り組める環境整備を図り、発症予防から重症化・合併症予防など一貫した対策を推進する。</p> <p>実施日：令和6年9月3日</p> <p>参加者：市町保健担当者 4名</p> <p>内 容（1）糖尿病等地域医療連携について</p> <ul style="list-style-type: none">・地域と医療の連携に関するアンケート（案）について <p>（2）徳島県CKDシステムについて</p> <p>（3）情報共有</p> <ul style="list-style-type: none">・市町における糖尿病等重症化予防の取組について・事業所と連携した減塩教室（ソルセイブの活用）について

(3) 地域における食育推進事業

地域において、あらゆる世代が「食」に関して信頼できる情報に基づいた適切な判断を行う能力を身につけ、健全な食生活が実践できるよう関係機関と連携し、食育推進のための体制整備を行い食育の推進を図り、健康とくしまの実現をめざしています。

事 業 内 容
<p>1 専門職の人材育成</p> <p>(1) 地域における食育を推進する関係者への研修会の実施 内 容：食生活指針を活用した地域における食育活動について 参加者：食生活改善推進員及び育成指導担当者 17名</p> <p>(2) 食生活改善推進協議会、三好集団給食施設協議会等と連携した人材育成 テーマ：「みよし地域の食文化の良さを再発見しよう！」 参加者：11名</p> <p>(3) 市町の食育推進委員会における情報提供</p> <p>(4) 食育に関するツールや指導用媒体・パンフレットの提供</p> <p>2 健全な食生活を実践するための普及啓発</p> <p>(1) 関係機関と連携した普及啓発</p> <p>(2) 出前講座等を活用した普及啓発 1回 18名（河内ひまわり教室）</p> <p>(3) 管内高等学校保健展（池田高等学校三好校、辻校）における普及啓発</p>

(4) 食生活改善地区組織育成指導事業

栄養改善の地域への浸透をめざし、食生活改善員の指導・育成を図っています。

管内協議会及び保健所協議会の状況（令和7年3月31日現在）

三好市食生活改善推進協議会：会員数22名

三好保健所食生活改善推進協議会：会員数22名

活動目的：生活改善を中心とした地域の健康づくり活動に関するボランティア組織で地域の健康づくりに寄与することを目的としています。

対 象	項 目	個 別		集 団	
		回数	人数	回数	人数
食生活改善推進員等		66	66	11	121

(5) 外食栄養表示対策事業

飲食店等が外食栄養成分表示等の食情報の提供と食に関する正しい知識普及啓発の発信源となれるよう指導を行うことにより、食環境整備を図り、住民の健康づくりを支援することを目指します。

対 象	項 目	個 別		集 団	
		回数	人数	回数	人数
外 食 栄 養 成 分 表 示		2	2	6	89

(6) 野菜摂取量アップ推進事業

平成24年度から、8月31日の「野菜の日」を含む1週間(日曜日から土曜日まで)を本県独自の「とくしま野菜週間」と定めており、本週間に、関係機関及び団体等と連携し、野菜の目標量摂取の達成に向けて、集中的な啓発活動を行っています。

事 業 内 容
<p>1 「とくしま野菜週間」における普及啓発</p> <p>(1) 保健所及び三好庁舎におけるパネル展の実施</p> <p>(2) 管内市町における啓発を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発チラシ、グッズ等を配布 <p>(3) 三好病院と連携した啓発の実施</p> <p>(4) 三好集団給食施設協議会や食生活改善推進協議会と連携した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三好集団給食施設協議会（49施設）に普及啓発グッズ等を配布 ・みよし食育実行委員会みよし食育教室（高校生や高齢者を対象）での啓発支援 ・三好市食生活改善推進協議会に普及啓発グッズ等を配布 100セット ・三好保健所食生活改善推進協議会と連携した普及啓発 <p>店頭啓発：2回（令和6年8月28日） 場所：フレスポ阿波池田、サンシャイン池田</p> <p>2 「野菜摂取量アップ」に向けた環境整備の促進</p> <p>(1) 高校保健展における普及啓発 2校（池田高等学校三好校、辻校）</p> <p>(2) 「健康づくり推奨店」「健康とくしま応援団」「にし阿波・健康づくり事業所」への情報提供及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問店舗数：3店舗 ・啓発件数：5件 ・新規登録数：「健康とくしま応援団」2店舗 「にし阿波・健康づくり事業所」2店舗 <p>(3) 毎月24日「にし阿波・野菜食べようデー」における啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのポスター、のぼりの掲示 <p>(4) 給食施設の利用者やその家族に対して、特定給食施設や給食施設協議会を通じ、給食日より等を活用した情報提供・啓発を推進</p> <p>(5) 研修会等を活用した普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準監督署と連携した研修会の開催

(7) 災害時栄養管理体制推進事業

大規模災害時に、避難生活の長期化を見据え、発災当初から被災者の健康状態を維持するために必要な栄養・食生活支援活動が迅速に展開できるよう、関係機関及び関係団体等と連携した体制整備の強化を図っています。

事業内容	
1	関係機関及び関係団体等の体制整備強化のための啓発
(1)	研修会の開催（三好集団給食施設協議会管理者研修会と併せて実施） 開催日：令和7年1月29日 参加者：給食施設職員、市町管理栄養士・防災担当者等 14名 内 容：講演・実演「自施設に必要な備蓄食を考える」 情報交換・試食 講師 株式会社みやこ 防災士 日本災害食学会災害食専門員 山田 治代 氏 情報提供：給食施設における危機管理対策アンケート結果について
2	イベントを介した情報提供 市町イベントにおける情報提供・意識啓発 ・東みよし防災フェスティバル2025で「災害時の食について」啓発活動 ブース来場者：一般住民 約140名 啓発資料配布：300セット
3	その他関係機関・団体との体制整備等 会議や研修会の機会を活用し、食生活改善推進協議会・集団給食施設協議会と連携した啓発の実施

(8) 栄養調査状況（健康増進法 第10～16条関係）

調査名	内 容
令和6年国民健康・栄養調査	該当なし

(9) 食環境整備推進事業（健康徳島21関係）

事 業 内 容				
健康徳島21・食環境関係指標の内訳				
1 栄養表示店について				
栄養表示（ヘルシーメニュー・ヘルシーオーダー含む）実施店の状況				
		累 計		
実施店舗数		12		
実施メニュー数		46		
2 栄養に関する情報提供について				
対 象	項 目	個 別	集 団	
			回 数	人 数
一 般 住 民		0	2	56
各 種 団 体 等		197	7	119
栄 養 士		27	0	0
調理師・調理師会		5	0	0
3 身近にいる食事や料理の仕方を教えてくれる人について				
食生活改善推進協議会の状況				
管 内 の 状 況		活 動 の 総 数		
協議会数	1	活動回数	指導住民延べ人数	
推進員数	22	198	625	
4 食事指導のできる市町村管理栄養士等について				
(1) 市町村管理栄養士・栄養士配置状況 （令和6年4月1日現在）				
保健所別	市町村数	配置市町村	配置率(%)	配置人員
三好保健所管内	2	2	100.0	4
徳 島 県	24	19	79.2	34
(2) 市町村関係者の指導状況				
対 象	項 目	個 別	集 団	
			回 数	人 数
市町村関係者		64	2	5
5 利用者やその家族が栄養指導を受けることができる給食施設について（管内の状況）				
給食施設での栄養指導実施率			66.1%	
給食施設での栄養表示実施率			83.9%	
健康づくりの一環として給食を実施している施設			73.2%	
給食の給与栄養量評価を実施している施設			98.2%	
三好集団給食施設協議会加入率			85.7%	
※令和6年度徳島県給食施設状況報告書による				

(10) 食品表示適正化スピードアップ事業（栄養表示対策事業）

誇大広告を含む食品への栄養成分関連を業者や消費者に対し指導しています。
（食品表示法、健康増進法関係）

個別指導・収去件数

種 別	項 目	個別指導延件数	収 去 延 件 数
食 品 表 示 法	栄 養 表 示 食 品	3	
	保 健 機 能 食 品		
健 康 増 進 法	特 別 用 途 食 品		
	誇 大 広 告		

※保健機能食品：特定保健用食品、機能性表示食品、栄養機能食品

集団指導

回 数	延 人 数
13 (8)	254 (156)

※（ ）内は、消費者に対する啓発数で内数。

(11) 栄養士免許等申請状況（栄養士法関係）

種 別	管理栄養士	栄 養 士	計
免 許 申 請	2	1	3
書 換 え	2	4	6
再 交 付		2	2
各 種 証 明			0
計	4	7	11

1 1 健康づくり事業

(1) 健康増進事業

健康増進法に基づき、市町が実施している健康増進事業の補助金申請事務を行うとともに、事業の効果的な推進に向けて統計データの提供や会議等を行い、地域の特性に応じた市町の取り組みを支援しています。

(2) 糖尿病対策総合戦略事業

糖尿病対策を推進するため、糖尿病地域連携クリティカルパスの円滑な運用により、医療を始めとした関係機関の連携を強化すると共に糖尿病の治療脱落や重症化を予防し、地域における糖尿病の適正な管理を行うための体制整備を行っています。また、生涯を通じた健康づくり対策を推進するために、特定健診、特定保健指導の円滑な推進を図るための支援と地域保健と職域保健が連携を図り事業を推進しています。

① 糖尿病地域医療連携体制整備事業

事業内容	
1	<p>糖尿病・CKD（慢性腎臓病）対策担当者会の開催</p> <p>西部圏域の健康課題である糖尿病やCKD（慢性腎臓病）対策をより効果的に推進するため、地域の医療機関や行政が連携を図り、継続的に生活習慣の改善や治療に取り組める環境整備を図り、発症予防から重症化・合併症予防など一貫した対策を推進。</p> <p>開催日：令和6年9月3日</p> <p>参加者：市町保健担当者 4名</p> <p>内容：（1）糖尿病等地域医療連携について</p> <ul style="list-style-type: none">・地域と医療の連携に関するアンケート（案）について <p>（2）徳島県CKDシステムについて</p> <p>（3）情報共有</p> <ul style="list-style-type: none">・市町における糖尿病等重症化予防の取組について・市町における糖尿病等重症化予防の取組について
2	<p>糖尿病地域医療連携体制整備事業研修会</p> <p>（にし阿波・糖尿病サポーター養成講座と併せて実施）</p> <p>開催日：令和7年1月16日</p> <p>参加者：介護関係施設・事業所職員（介護士、看護師、管理栄養士等）、市町担当者等16名</p> <p>内容：講義①「在宅糖尿病療養者の生活支援～多職種連携の必要性～」</p> <p>講師 医療法人ひまわり会 中洲八木病院</p> <p>栄養管理室長 日本糖尿病療養指導士 椎本 美絵 氏</p> <p>講義②「糖尿病療養支援のあれこれ（足の観察・低血糖・服薬等）」</p> <p>講師 徳島県立中央病院 糖尿病看護認定看護師</p> <p>日本糖尿病療養指導士 古元 香織 氏</p> <p>グループワーク「事例検討」</p>

- 3 糖尿病療養者支援研修会 (ハイブリット開催)
 (にし阿波・糖尿病サポータースキルアップ研修会、三好集団給食施設協議会栄養士研修会と併せて実施)
 開催日：令和6年8月22日
 参加者：給食施設職員・医療機関職員・学校職員及び地域保健関係者(保健師・管理栄養士)等 16名
 内 容：講義「糖尿病について～徳島県の現状をふまえて～」
 講 師：安芸内科 安藝 菜奈子 氏
- 4 世界糖尿病デーにおける普及啓発
 (1) パネル展示及びコットンボールを活用した屋内でのブルーライトアップの実施
 実施日：令和6年11月1日から令和6年11月21日まで
 場 所：三好保健所、西部総合県民局三好庁舎、ショッピングセンター(フレスポ阿波池田)、三好市保健センター、東みよし町役場、県立三好病院、市立三野病院
 (2) 県立三好病院と連携したブルーライトアップの実施
 実施日：令和6年11月1日から令和6年11月29日まで
 場 所：県立三好病院

② 職域タイアップ事業

事業内容		
<p>1 地域職域連携推進協議会 地域保健と職域保健が連携し、協議の場を設けることにより、効率的な健康支援のための方策や生涯を通じた健康づくりを推進するため、関係機関の役割と仕組み作りについて検討。 構成員：医師会、歯科医師会、薬剤師会、労働基準監督署、商工会議所、商工会、食品衛生協会、食生活改善推進協議会、市町、全国健康保険協会徳島支部</p>		
開催日	出席者	協議内容
R6. 12. 10	16名	(1) 県・三好保健所における健康づくりについて (2) 事業所との連携事業について (3) 地域・職域における健康づくり・メンタルヘルス対策について
<p>2 職域における健康づくり支援 (1) 事業所職員等に対する研修会 令和6年度全国労働衛生週間説明会 実施日：令和6年9月5日 対象者：三好労働基準監督署管内にある企業担当者等 29名 内 容：働き世代の健康づくりについて 講 師：三好保健所 管理栄養士</p>		
<p>3 健康づくりに関する出前講座の実施 実施回数：5回 参加人数：85名 内 容：たばこ、糖尿病、高齢者の栄養・フレイル等について</p>		

4 飲食店等における受動喫煙防止のための啓発

食品衛生協会と連携し、飲食店再教育講習会開催時に、健康増進法改正法や受動喫煙防止に関する説明、啓発を実施。

実施回数：4回

対象者：69名

5 健康増進普及月間における普及啓発

開催日：令和6年9月2日から9月30日まで

場所：三好保健所、西部総合県民局三好庁舎県民生活センター

内容：糖尿病、野菜摂取量アップ、受動喫煙防止の啓発展示

6 世界禁煙デーにおける啓発

開催日：令和6年5月31日から6月6日まで

場所：西部総合県民局三好庁舎県民サービスセンター、三好保健所

内容：COPD関係の啓発展示、リーフレットの配布

啓発ポスターの関係機関への配布（対象：管内医療機関等 50件）

(3) 健康づくり環境整備事業

糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防し、健康な地域づくりの環境整備を推進するため、とくしままるごと健康づくり事業とリンクしながら、「健康とくしま応援団」の募集・登録を進めています。このことにより、「健康徳島21」を推進し、生活習慣の改善と継続を支援するための環境づくりを行っています。

① 健康とくしま応援団普及促進事業

登録店舗・事業所等の状況（R7.3月末現在）

食環境づくり			たばこ 対策	野菜摂取 量アップ 対策	歯と口の 健康づくり	運動による 健康づくり	心の健康 づくり	その他
推奨店	食情報	支援						
12	48	14	205	24	14	35	19	22

(4) 受動喫煙対策

徳島県においては、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の死亡率が、3年連続（H25～H27）全国ワースト1位となって以降、H29、R3、R4年と全国ワースト1位となるなど、高い水準で推移しています。特に、県西部での死亡率が高く、主要な原因は喫煙といわれています。

そこで、次代を担う子どもやその関係機関等と連携しながら受動喫煙対策を推進しています。

① 次代を担う子どもへ、健康とおいしい空気の大切さの普及啓発事業

ア 学校保健と連携した喫煙防止教育の実施

対象	小学校	中学校	高校生	計
実施回数	6	5	1	12
延人員	183	265	36	484

② 受動喫煙のない環境づくりのための分煙の推進

飲食店等への普及啓発

飲食店等での受動喫煙防止の健康教育や禁煙シールを配布、活用し、受動喫煙防止のための意識づけを実施。

③ 啓発活動

ア 世界禁煙デーに係る啓発活動

実施期間：令和6年5月31日から令和6年6月6日

1	世界禁煙デーに係る啓発展示 西部総合県民局三好庁舎県民サービスセンター、三好保健所
2	禁煙ポスターの配布 管内医療機関等に配布
3	小中学校への健康教育
4	管内民生委員総会総会での情報提供

イ 管内高等学校(2高校)での啓発展示及び個別相談
たばこクイズの実施相談・パンフレットの配布等

(5) 「徳島・にし阿波」ですすめる健康づくり事業

糖尿病をはじめとする生活習慣病予防、食生活や運動不足の改善など、西部圏域の様々な健康課題に地域全体で取り組んでいくため、「にし阿波・糖尿病サポーター養成講座」の開催や「にし阿波・野菜食べようデー」の普及拡大等、官民一体となり、糖尿病・慢性腎臓病対策に積極的に取り組むことにより、「健康！にし阿波」づくりを推進しています。

内 容	備 考																		
(1)管内事業所等と連携した減塩啓発事業 ・商工会等の協力のもと、管内事業所等の働き盛り世代に対し、自身の食塩摂取量について考え行動変容につなげて頂くため、減塩パンフレット等を配布し、減塩の必要性の啓発に努めた。	配布数 1,350名																		
(2)にし阿波・健康づくり事業所の登録（令和7年3月31日時点）	登録数124事業所 (美馬64 三好60)																		
(3)にし阿波・野菜食べようデーにおける野菜摂取量アップの推進 毎月24日は「にし阿波・野菜食べようデー」とし、にし阿波・健康づくり登録事業所による野菜摂取量1日350g以上の啓発を推進																			
(4)アドバイスカードの作成・活用 給食施設と連携し、「にし阿波・野菜食べようデー」や「世界糖尿病デー」等の機会をとらえ、給食を介した健康づくりのアドバイスカードの配布による情報発信を推進																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>カード種類(5種類)</th> <th>利用施設数</th> <th>配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界糖尿病デー</td> <td>45(美馬:17 三好:28)</td> <td>2,205(美馬: 718 三好:1,487)</td> </tr> <tr> <td>にし阿波・野菜食べようデー</td> <td>62(美馬:20 三好:42)</td> <td>3,200(美馬: 898 三好:2,302)</td> </tr> <tr> <td>COPD</td> <td>33(美馬:12 三好:21)</td> <td>1,395(美馬: 468 三好: 927)</td> </tr> <tr> <td>食育の日</td> <td>62(美馬:20 三好:42)</td> <td>5,845(美馬:1,163 三好:4,682)</td> </tr> <tr> <td>減塩の日</td> <td>56(美馬:18 三好:38)</td> <td>3,300(美馬:1,163 三好:2,137)</td> </tr> </tbody> </table>	カード種類(5種類)	利用施設数	配布枚数	世界糖尿病デー	45(美馬:17 三好:28)	2,205(美馬: 718 三好:1,487)	にし阿波・野菜食べようデー	62(美馬:20 三好:42)	3,200(美馬: 898 三好:2,302)	COPD	33(美馬:12 三好:21)	1,395(美馬: 468 三好: 927)	食育の日	62(美馬:20 三好:42)	5,845(美馬:1,163 三好:4,682)	減塩の日	56(美馬:18 三好:38)	3,300(美馬:1,163 三好:2,137)	
カード種類(5種類)	利用施設数	配布枚数																	
世界糖尿病デー	45(美馬:17 三好:28)	2,205(美馬: 718 三好:1,487)																	
にし阿波・野菜食べようデー	62(美馬:20 三好:42)	3,200(美馬: 898 三好:2,302)																	
COPD	33(美馬:12 三好:21)	1,395(美馬: 468 三好: 927)																	
食育の日	62(美馬:20 三好:42)	5,845(美馬:1,163 三好:4,682)																	
減塩の日	56(美馬:18 三好:38)	3,300(美馬:1,163 三好:2,137)																	

<p>(5)にし阿波・糖尿病サポーター養成講座 日 時：令和7年1月16日 場 所：徳島県立西部防災館 講義①：「在宅糖尿病療養者の生活支援～多職種連携の必要性～」 講師 医療法人ひまわり会 中洲八木病院 栄養管理室長 日本糖尿病療養指導士 椎本 美絵 氏 講義②「糖尿病療養支援のあれこれ（足の観察・低血糖・服薬等）」 講師 徳島県立中央病院 糖尿病看護認定看護師 日本糖尿病療養指導士 古元 香織 氏 グループワーク「事例検討」</p>	<p>参加者数 28名</p>
<p>(6)にし阿波・糖尿病サポータースキルアップ研修（ハイブリッド開催） 日 時：令和6年8月22日 場 所：西部総合県民局美馬庁舎大会議室、視聴会場：三好保健所、 オンライン 講 義：「糖尿病について～徳島県の現状をふまえて～」 講 師：安芸内科 安藝 菜奈子 氏</p>	<p>参加者数 40名</p>
<p>(7)COPD対策事業研修会（ハイブリッド開催） 日 時：令和6年8月9日 場 所：三好保健所、オンライン 講 演：テーマ「受動喫煙対策・禁煙教育を考える ～新型たばこに潜む子どもや若者の健康への影響～」 講 師：公益財団法人香川県予防医学協会 顧問 森田 純二 氏</p>	<p>参加者数 40名</p>
<p>(8)世界糖尿病デーにおける普及啓発 日時：令和6年11月1日～令和6年11月21日 内容：パネル展示の実施（保健所、県民局庁舎、ショッピングセンター等） ブルーライトアップの実施（保健所、県民局庁舎、県立三好病院、三好市立三野病院、 市町）</p>	

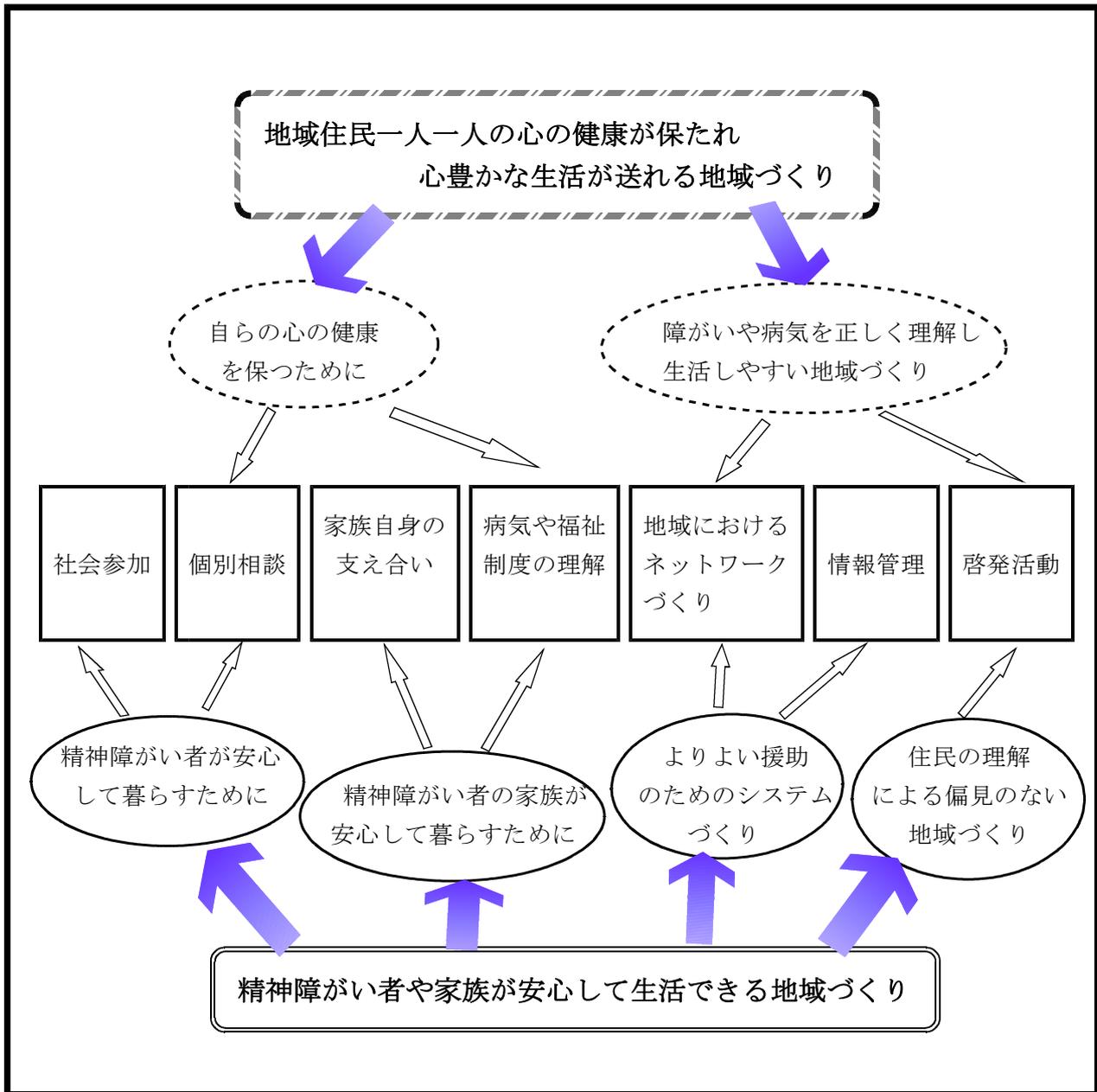
1 2 精神保健福祉事業

(1) 活動の概要

地域住民の心の健康の保持増進及び精神障がい者の社会参加と自立支援の基盤体制づくりに向けて、精神保健福祉連絡協議会を核に関係機関及び諸団体との連携を図りながら、各種の精神保健福祉事業を推進しています。

また、地域住民に精神障がい者への理解を深めてもらうとともに、精神障がい者及び家族支援を行いながら社会参加を促進し、精神障がい者が共に暮らせる地域社会づくりを目指しています。

精神保健福祉業務の体系図



(2) 精神保健福祉相談実績

地域住民の心の健康上の問題や家族関係、生活上の問題等に関して、精神科医師及び保健師が個別に相談・助言を行っています。

① 精神保健福祉相談

種別		老 人 精 神 保 健	社 会 復 帰	ア ル コ ー ル	薬 物	ギ ャ ン ブ ル	ゲ ー ム	思 春 期	心 の 健 康 づ く り	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	て ん か ん
定期相談	開催日数 (2)日					1						
定期外相談	電話相談	63	191	133	3	34		2	94	57	3	1
	面接相談	3	119	9					7	5		3

その他	計	計の再掲							
		ひ き も り	自 殺 関 連	自 死 遺 族 (再掲)	犯 罪 被 害	災 害	高 次 脳 機 能 障 が い	発 達 障 が い	治 療 中 断
1	2	1							
15	596	35	114	11			10	14	25
4	150	5	6				2	2	17

② 保健師による訪問指導実施件数

種別	老 人 精 神 保 健	社 会 復 帰	ア ル コ ー ル	薬 物	ギ ャ ン ブ ル	ゲ ー ム	思 春 期	心 の 健 康 づ く り	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	て ん か ん
件数	(3) 8	(15) 38	(4) 36					(5) 21	(5) 9		

その他	計	計の再掲							
		ひ き も り	自 殺 関 連	自 死 遺 族 (再掲)	犯 罪 被 害	災 害	高 次 脳 機 能 障 が い	発 達 障 が い	治 療 中 断
(1) 1	(33) 113	(5) 14	(7) 22	(1) 4				(1) 2	(2) 19

(3) 精神障がい者の社会参加促進

① 地域精神保健福祉連絡協議会

精神障がい者の自立並びに社会参加の促進を図るため、地域の実情に応じた精神保健及び精神障がい者の福祉に関する対策等について協議を行っています。また、保健所での精神保健福祉活動への理解や、関係機関の連携を深める目的で開催しています。

開催回数・月日	内容	参加人数
1回 (R6.10.8)	1 三好保健所における精神保健福祉対策について ・三好保健所管内の現状 ・精神保健福祉事業について 2 自殺対策について ・三好保健所管内の状況について 3 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ・三好保健所精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について	24 (管内関係機関)

② 家族会支援

昭和61年9月に「三好地区家族会（やまなみ会）」会員28名で発足し、学習会を開催し会員間の親睦を図り、小規模共同作業所やグループホームを開設してきました。平成16年頃からは家族会としての役割も変わってくる中で、会員の高齢化や新規会員の減少により活動もできなくなってきました。平成23年頃からは市町の家族会も活動を終了し、ここ10年は総会のみで開催となっていました。令和4年度から三好市・東みよし町とも今後の活動について検討した結果、継続は難しいと判断し解散となりました。

開催回数・月日	内容	参加人数
1回 R6.7.22	三好精神障害者家族会 解散式	15

③ デイケア支援

精神障がい者が正しい生活習慣等を身につけるとともに、親睦や地域活動の場を広げる機会とすることを目的に、三好市東祖谷地区においてデイケアが開催されており、支援を行っています。

支援回数	内容	対象地域	参加人数
1回 R6.6.20	こころの健康教室	三好市東西祖谷	8

④ 精神保健ボランティア等の育成・支援

精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及や理解を深め、精神障がい者の社会参加の促進、精神保健の向上を図るため講座を開催し、精神保健ボランティアを育成しています。また、その講座を修了した者で組織された精神保健ボランティアグループ「ハートみよし」への支援を行っています。

精神障がい者支援関係職員に対して、支援に必要な知識・技能の習得を目的とした研修会を開催しています。

月日	内容	参加実人数（延）
R6. 9. 11 R6. 9. 27	1 精神保健ボランティア養成講座及び精神障がい者支援関係職員研修会	25(46)
	2 精神保健ボランティア「ハートみよし」支援 (1)役員会、総会 (2)当事者・家族・支援者交流会での支援 (3)三好病院緩和ケア病棟でのデイサービス (4)「NPO法人みよしサポート協会ぴあぞら」への支援 (5)自殺予防対策としての啓発活動として、高齢者うつ病予防のための紙芝居上演やパッチワークキルト展の開催 (6)その他、上記、活動等において、事務局として会員や関係機関との調整	40(319)

⑤ 関係機関とのケース検討会

社会復帰施設・精神科病院・行政等、それぞれの機関で抱える処遇困難事例に対して、より良い支援体制が整備されるよう検討会を開催または参加しています。

開催回数	内容	参加延人数
12回	ケースの処遇に関する検討会議	128

(4) 地域移行支援

① 関係機関との会議

参加回数	会議名
6回（2ヶ月毎）	三好市・東みよし町障害者定例支援会議
6回（2ヶ月毎）	地域生活支援拠点部会
6回（2ヶ月毎）	地域移行支援部会

② ピアサポーター活動支援

精神科への長期入院患者の地域移行・地域定着には多様な支援と時間を必要とするため、ピアサポーターの役割は大きいと言われていています。そのため、ピアサポーターの認知度の向上を図るためのピアサポート講座を実施しました。

開催回数・月日	内容	参加人数
1回 R7. 2. 21	おためしWRAP教室	14

③ ピアサポートの活用にかかる事業

ピアサポーターと関係職員や地域住民が交流を持ち、ピアサポーターについての知識等を深め、今後のさらなる活動に繋げていけるよう、体験発表及び意見交換会を実施しました。

開催回数・月日	内容	参加人数
2回 R6. 5. 21 R6. 9. 11	ピアサポート活動に係る体験発表及び意見交換会	精神保健ボランティア講座受講者、関係職員、看護学生等

(5) 不登校・ひきこもり支援

不登校・ひきこもりの当事者・家族にとって、それぞれが抱える問題は個別性が強く、その状況にあわせた対応や支援が必要であり、グループ活動や研修会などを通じて支援を実施しています。また、NPO法人との協働により設置された、ひきこもりの居場所への支援を行っています。

開催回数	内容	参加延人数
2回 R6. 6. 19 R6. 11. 7	【ひきこもり事例検討会】 事例提供：特定非営利活動法人 みよしサポート協会「ぴあぞら」 助言者：秋田病院 公認心理師 山下 裕子 氏 事例提供：特定非営利活動法人 みよしサポート協会「ぴあぞら」 助言者：秋田病院 公認心理師 高川 明美 氏	13 6
1回 R6. 12. 20	【ひきこもり当事者の会修学旅行】 うみのこてらす われもこう (海部郡牟岐町中村本村14 旧牟岐小学校)	16
1回 R6. 12. 5	【ひきこもり支援者研修会】 「不登校を大人はどう理解するか -フェーズシートを活用した支援-」 講師：高知市教育支援センターみらい センター長 吉本 恭子 氏	37

(6) 高次脳機能障がいに関する支援

① 高次脳機能障がい交流会の開催

高次脳機能障がいは、障がいそのものによる生活困難に加え、外見上理解されにくいことから、同じような経験を持つ当事者や家族の不安や悩み、今後の生活に役立つ情報等を共有することで、孤独感や不安感の軽減等を図ることを目的に交流会を開催しています。

開催回数	内容	参加人数
研修会 R6.6.28 美馬保健所と共催	1 講演 「高次脳機能障がいとのつきあい方 ～症状とその対応例について～」 講師：徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科 南川 貴子 氏	18
交流会 R6.10.20 美馬保健所と共催	1 講演 「高次脳機能障がいってどんな障がい？ ～症状と対応について～」 講師：徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科 南川 貴子 氏 2 交流会（グループワーク）	18

② 普及啓発の実施

自殺予防週間（9/10～9/16）、自殺予防対策強化月間（3月）に併せて、大型店舗フロアや西部総合県民局三好庁舎県民サービスセンターで啓発パネル・資料の掲示を実施しました。

(7) 精神保健福祉に関する知識の普及啓発

① 健康ライフサポート講座

精神保健福祉に関する正しい知識の普及と、自らの心の健康づくりのために出前講座を実施しています。

実施回数	内容	対象者	参加延人数
3回	メディアと健康、 アルコールについて	管内小中学校	146
9回	アルコールについて	管内小中学校	341
5回	高齢者のメンタルヘルス	管内団体	169
3回	こころの健康について	管内団体	119

② その他の健康教育等

関係機関との連携のもと、さまざまな機会を利用して精神保健福祉に関する情報提供と健康教育を実施しています。

実施回数	内容	対象者	参加延人数
2回	【学校祭における保健展】 ストレスチェック アルコールパッチテスト	管内高校	88

- ③ 心と心がつながる場所「寄ってみんな会」の開催
 アルコール関連問題に悩む家族・当事者、ボランティア、関係職員などが集まり、話し合える交流会を開催しています。

開催回数	内容	参加延人数
2回 R6.11.19 R6.11.29	家族・当事者、支援機関等の交流・茶話会等 (体験談発表や意見交換等)	11

- ④ 酒害相談
 アルコール関連問題に悩む家族・当事者に対して、酒害相談員による相談を行っています。断酒会支部長、家族と同行訪問を実施しました。

実施回数	内容	参加延人数
1回 R7.3.19	家族・当事者を対象とした酒害相談 (断酒会支部長、家族、保健師による訪問相談)	1

(8) 自殺予防対策事業

① 自殺対策連絡協議会等

自殺対策連絡協議会では管内の自殺対策を検討し関係機関の連携を図る事を目的としています。また平成26年度から実施しているハイリスク者支援会議等において実務者レベルでの検討を実施しております。

回数	内容	参加人数
1回 R6.10.8	自殺対策連絡協議会 1 三好保健所における精神保健福祉対策について ・三好保健所管内の現状 ・精神保健福祉事業について 2 自殺対策について ・三好保健所管内の状況について 3 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について ・三好保健所精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について	24 管内関係機関
2回 R6.7.5 R6.12.6	連続セミナーフォローアップ研修会 講義 「自殺支援における面接技法」について 支援困難事例の検討 講師 藍里病院副院長 吉田 精次 氏	15(第1回) 21(第2回) 管内関係機関

② 思春期に向けての対策（こころの健康学習）

日程	場所	内容	参加延人数
1回 R6. 8. 6	コミュニティ拠点 CO-MORI	こころの健康リーダー養成講座	32 (管内中高生及び 教員、ボランティア 職員)
3回 R6. 6. 10 R6. 9. 19 R7. 3. 10	管内中学校	SOSの出し方講座 講師：三好保健所 保健師	119 (管内中学生及び 教員)

③ 生き心地の良い地域づくり応援事業（NPO法人への委託事業）

思春期や小さな子どもを持つ親が気軽に相談できる居場所を提供し、若者の自殺リスクを下げることを目的としています。

委託期間	内容	参加延人数
R6. 4. 1～ R7. 3. 15	思春期の若者や小さな子どもを持つ親に対して 公認心理師や精神保健福祉士などの専門職に 気軽に相談できる居場所を提供	子ども 240 大人・家族 177 学生ボランティア 84 関係機関 6 ボランティア ・スタッフ 165 その他 7 合計 679

④ 若者の「こころのピアスタッフ」養成事業

パソコンやスマホ等のメディアの普及により、子どもの脳や心の健康に及ぼす影響が危惧されていることから、地域や学校、家庭における「メディア依存症の予防」について理解を促進するため、出前講座を実施しています。

回数	内容	参加人数
3回 R6. 7. 8 R6. 7. 10 R7. 2. 14	メディア依存に関する出前講座	146 (管内中高生及び 教員)

⑤ 自殺未遂者相談支援事業

自殺未遂は自殺既遂の大きな要因だとされていることから、救急科病院をはじめとした支援機関と自殺未遂者支援に関する意見交換会を重ね、令和6年度から自殺未遂者の再企図を防止する取組として自殺未遂者相談支援事業を開始しました。事業開始以降は円滑な連携のため実務担当者会を実施しております。

回数	内容	参加人数
3回 R6. 6. 29 R6. 9. 10 R7. 3. 11	1 自殺未遂者支援に関する意見交換会 ・三好地域における未遂者支援連絡体制について ・自殺未遂者相談支援事業について 2 自殺未遂者支援実務担当者会 ・各機関の自殺未遂者との関わりの状況について ・自殺未遂者相談支援事業の状況について	21 (第1回) 21 (第2回) (管内関係機関) 22 (管内関係機関)
1回 R6. 11. 13	自殺未遂者相談支援事業 ・病院にて面接、支援について情報提供 ・退院後、電話相談、訪問指導を実施	対象者 1名

⑥ はあとケア相談会

こころの健康に不安を抱える人への相談支援体制を充実するため、地域の公民館や集会所、市町、保健所などにおいて、保健師や専門医による「はあとケア相談会」を開催するとともに、地域のイベントにおいて、こころの健康相談コーナーを設けるなど、身近なところで気軽にこころの相談が受けられる体制を整備しています。

回数	内容	参加延人数
2回 R6. 4. 10 R6. 11. 28	各地域での相談会（依頼に合わせた内容で実施） ・メンタルヘルスに関する講演会 講義：高齢者の心の健康について 講師：三好保健所 保健師 ・うつ予防紙芝居DVD上映 等	29

⑦ おせっかい塾

こころの健康に不安を抱える人は、地域の中で孤立し、自ら治療に結びつくことが少ないという現状を踏まえ、地域の中で気になる人に声をかけ、保健所や市町の保健師等につなぐことにできる人材を養成しています。

回数	内容	参加人数
1回 R7. 3. 21	講義：高齢者のメンタルヘルス 講師：三好保健所 保健師	40

⑧ 普及啓発事業

ア 啓発パネル展

自殺予防週間（9/10～9/16）、自殺予防対策強化月間（3月）に、大型店舗前や県民局でパネル展を実施。うつ予防や心の健康づくりに関するチラシ、グッズを配布し、来店者への啓発を図っています。

イ ストレスチェックの実施

ウ 出前講座の実施

老人会や小学生に対し、うつ病予防やコミュニケーションスキルなどの技術を習得し、生きる力を培うための健康教育を実施しています。

エ 高齢者のうつ病予防のためのパンフレット配布

紙芝居やDVDと共に高齢者に対して啓発を行っています。

1 3 保健師活動状況

(1) 保健師活動状況割合

6月・10月調査分

訪問	直接対人支援			地域・組織支援				施策管理・業務及び			
	健康相談・保健指導 日時指定	健康相談・保健指導 随時	健康診査 予防接種	集団健康教育 教室活動、グループ支援	地区組織活動 (ネットワークづくり)	担当地区の地区診断	コーディネート (個別)	コーディネート (地域)	事業・施策の企画立案・評価	保健福祉計画等の策定・評価	業務管理、組織運営管理
3.9	0.3	12.2	1.4	3.9	3.1	3.1	2.4	10.2	5.7	0.4	1.7

組織マネジメント						人材育成				健康危機管理		業務連絡・事務	その他	計
人事管理	予算管理	議会対応	施設立入検査・管理指導等	学会発表等での保健活動の発信	調査・研究等の依頼への協力	人材育成体制構築研修会企画・OJT指導	実習学生・研修生への教育	保健師等学校養成所での指導	研修等への参加	平時の対応	発生時の対応			
0.1	1.6	0	1.6	0	2.0	2.3	0.3	0	2.5	2.3	0.1	35.0	3.9	100

(2) 市町対象別家庭訪問件数

区分	感染症	結核	精神障がい						心身障がい	難病	小児慢性特定疾患	生活習慣病	ねたきり病人	その他の疾患	母子保健					その他	計	
			社会復帰	老人精神保健	アルコール	ギャンブル	その他	再掲ひきこもり							妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児			幼児
三好市	0	6	10	3	2	0	6	3	0	2	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	34
	0	14	21	8	27	0	10	5	0	5	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0	92
東みよし町	0	2	5	0	2	0	5	2	0	3	0	0	0	0	0	4	3	1	0	0	0	25
	0	21	17	0	9	0	21	9	0	12	0	0	0	0	0	7	5	2	0	0	0	94
計	0	8	15	3	4	0	11	5	0	5	0	0	0	1	0	6	5	1	0	0	0	59
	0	35	38	8	36	0	31	14	0	17	0	0	0	1	0	10	8	2	0	0	0	186

上段：実件数
下段：延件数

(3) 地域保健従事者実践能力強化事業

① 保健師現任教育研修会

日 時：令和6年8月21日 午前10時から正午まで

内 容：講義「感染対策の基礎知識」個人防護具の着脱訓練

講 師：感染管理認定看護師 平岡広美氏

参加者：所内保健師 7名

② 所内研修の実施

・講義：先輩保健師の経験から学ぶ 3回

・地域診断 1回

・演習：各担当の業務説明 2回

③ 県主催研修会、会議への参加

(4) 学生等保健所実習受入れ状況

対象者	日数	延べ 人数	内容
三好市医師会准看護学院	2	5	概要説明・保健事業等体験・施設見学
徳島大学看護学専攻	5	25	概要説明・地区診断発表・施設見学 事例検討等

1 4 調査研究等の実績

該当なし